

治罪法備攷上編

第二

保
815
2

和装本

6



保 15
815
2



治罪法備考上編第二卷

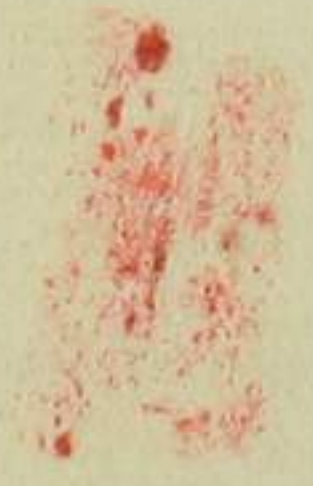
○第五章

檢察大意

治罪法書分テ二編トシ、上卷ハ、檢察ヲ論シ、下卷ハ、裁斷ヲ論ス、

檢察ハ、罪犯ヲ探索シ、罪証ヲ拾聚シテ、法司ニ付スルハ、謂ナリ、

檢察ノ事ハ、人犯ヲ裁判所ニ付スルニ至テ止マ、ル、裁判所裁斷ノ事務始マル時ハ、檢察ノ職務終



ル、ログロン氏

檢察事務、又分テ二目トス、曰、糾問、曰、檢彈、糾問トハ、事犯ヲ訪問シ、証憑ヲ蒐聚シテ、心証ハ資料ヲ備フルバ、謂ナリ、檢彈トハ、罪犯ヲ証告シテ、糾問ヲ求メ、續テ裁判所ニ向テ論告シ、處刑ヲ求ムルハ、謂ナリ、糾問ト檢彈ノ處分ヲ兩分シ、官吏課ヲ別チ、現行犯ハ緊急ヲ除クハ、外、常例互ニ相兼スル者ハ、何ソ乎、務メテ公平ヲ持シ、檢官ノ横ヲ防制シ、被告人ヲ保障スル所以ナリ、檢彈ノ事ニ任スル者、曰、目代、曰、檢察諸官、糾問ノ事ニ任スル

者、曰、糾問法官、是レナリ、メーゾン子ウ氏

檢彈、及糾問ノ兩事ヲ合セテ、名ケテ檢察トシ、糾問法官、及目代諸官ヲ合セテ、名ケテ檢察官吏トス、是レヲ總フル者ヲ大目代二十八員トス、法ニ據ルニ、檢察事務ノ監督ハ、上等裁判所之ニ任ス、治罪法九條故ニ上等裁判所ハ、知ル所ノ事件ニ付キ、大目代ヲ喚召督促シ、檢察事務ヲ行ハシムルヲ得、百十年四月二十日法大目代ハ、又檢察諸官、及糾問法官ヲ督促ス、ログロン氏

千八百二十七年、大審院判決ニ云、檢察ヲ監督ス
ルヲ、法章確カニ上等裁判所ニ任シタリ、或ハ以
テ司法執政ノ任トスル者ハ、誤リナリ、夫、檢察監
督ノ權ヲ上等裁判所ニ任シタルハ、司法獨立ノ
官ヲノ、民權ノ最大保障タラシムル所以ナリ、諸家ノ說ニ據ルニ、目代ハ、監督ヲ兩權ニ受ク、第一、司法執政第二、上等裁判所此レ、本條ト合ハス、詳ニ目代職制ニ著ハス。
檢察豫審ハ、之ヲ密行シ、供狀文書ヲ作り、被告人
及訊ヲ受ル諸人、互相比對スルヲ必要トセズ、對理
ナク、答辯ナク、衆人公聽ヲ許サズ、即古ノ糾問法

ニ出ル者ナリ、裁斷ノ公廷對理、言辭相應、答辯自
由、即古ノ告訴法ニ依ル者ト、正ニ相反ス、オルト氏
檢察ノ事務、常例、非常例ヲ分ツ常例トハ、非現
犯ヲ云、非常例トハ、現行犯、及現行犯ニ準スル者、
便急處分ヲ要スルヲ云、檢察官吏各員ノ權限、常
例、非常例ニ於テ、從テ又異ナリ、
檢察官吏各員ノ常例權限ヲ提クルニ、第一、目代
ハ、檢察諸官ヲ總ヘ、告訴告發ヲ受ク、重罪懲治罪
ヲ檢彈シ、其ノ重難ナル者ハ、糾問法官ニ送り、糾
治終テ案成ル時ハ、各裁判所ニ送付シ、裁ヲ求ム、

法學

第二ニ、糾問法官ハ、目代ノ牒求ニ應シ、罪犯ヲ糾治シ、証憑具ハルノ後、又目代ニ付ス、其ノ無罪、若クハ無証ナル者ハ、放還ス、第三ニ、備警兵士官、保安法官、警察使、邑長、副邑長ハ、本郡目代ノ補助トシ、備警兵士官ハ、其ノ所管本郡内、保安法官、警察使ハ、其ノ本区内、邑長、副邑長ハ、其ノ本邑内ノ重罪、懲治罪ノ告訴告發ヲ受ケテ、直チニ目代ニ送ル、第四ニ、警察使ハ、違警罪犯ヲ追糾シ、違警裁判所ニ向テ論告スルノ任ニ居ル、第五ニ、邑長、副邑長ハ、警察使在ラザルニ當テ、即チ警察使ノ檢

察務ヲ行フ、第六ニ、林警人ハ、部内ノ山林、漁、獵ノ懲治犯、違警犯ヲ檢察証告ス、第七ニ、野警人ハ、其ノ邑内ノ田野、山林、漁、獵ノ懲治犯、違警犯ヲ檢証ス、第八ニ、諸縣ノ縣令、及巴里府ノ警察令ハ、自ラ府縣内ノ重罪、懲治罪、違警罪犯ヲ檢視証告シ、若クハ檢察官ノ檢視証告ヲ求ムルノ權ヲ有ス、此レ其ノ大略ナリ、詳ニ後ニ聞説ス、現行犯ノ非常例ナル者ニ至テハ、目代、及目代、輔助諸員、進テ檢視、訊問、搜索、取供、允ノ糾問法官、爲スベキノ事ヲ爲シ、糾問法官、亦目代ノ牒求ヲ待

同
法

タズシテ進テ處分ヲ行フ法官、割無ケレハ、理セ故ニ常例ニ在テ、目

以上諸員ノ中ニ就テ、其ノ兩位相對シ、首トシテ

檢察ノ事ヲ執ル者、目代及糺問法官、是レナリ、二

員、共同均シク失錯ノ責ニ任ズウ、氏ニ指ル

其ノ下モ、多ク檢察諸員ヲ設ケ、知ル所ノ罪犯ヲ目

代ニ報セシム、報スル者アリ、報ヲ受クル者アリ、

互ニ相報スル者アリ報スル者トハ、檢察諸員ヲ

ヲ云、互ニ相報スル者トハ、目代トハ、目代ト

糺問法官ヲ云、オルトラ、氏 檢察原名司法警察、司法警察トハ、治部警察ニ對

スルノ名ナリ

按スルニ、警察ハ一ナリ、何故ニ、治部警察ト、

司法警察ト、判然區別スル乎、曰、治部警察ハ、

安全ヲ保持シ、罪犯ヲ豫防ス、保持豫防スル

者ハ、便宜百方詭秘ニ渉ルモ亦妨ケズ、故ニ

治部警察ハ、處務ハ、拘曲牽制ノ法章ナシ、司

法警察ハ、已發ノ罪犯ヲ制シ、之ヲ拘捕シ、之

ヲ喚問シ、建國法ノ所謂人身自由、家宅不侵

ハ、大權ヲ減殺ス、故ニ一舉一動皆嚴ニ之カ

矩矱繩尺ヲナシ、官吏事ヲ行フ者、奉シテ以

テ循守ヒザルヲ得ズ、治罪法是明白慎重
ニシテ、敢テ詭秘スルヲ得ズ、侵ス者横制
ヲ以テ論ズ、是レ治部警察ト、司法警察ト、其
ノ事實ニ相牽連シテ、而シテ必ス分テ兩段
トスル所以ナリ、ガシミル、フルニ司法警察
ノ事、何故ニ目代ニ委ヌル乎、曰、罪ヲ討シ惡
ヲ除クハ、人主ノ太權故ニ特ニ目代官ヲ設
ケテ、人主ノ耳目タリ、以テ國民ノ公福ヲ護
ルナリ、何故ニ保安法官、備警兵士官、警察使、
邑長ハ、稱シテ目代ノ補助トシ、目代ノ事ヲ

代行スル乎、曰、罪犯ヲ探索シ、罪証ヲ拾聚ス
ルハ、其ノ事故方ニ發シ、訟言沸起スルノ際
會ヲ失フベカラズ、故ニ司法警察官吏ヲシ
テ、地方ニ布カシメ、仍加フルニ目代補助ノ
名ヲ以テシ、專ラニ目代ノ事ヲ代理セシメ、
到ル所、罪人網ヲ漏ル、ベキナカラシムル
ナリ、然ラズンバ、目代獨リ郡ノ首邑ニ在リ、
豈ニ能ク檢察ノ力、邊僻ニ至リ、遺漏緩慢ナ
キヲ保タン乎、ログロシ氏、ハ已ニ目代
アリ、目代補助アリ、何故ニ又糾問法官アル

司法警察

乎、曰、目代ハ、専ラ政府ニ属シ、政府ノ使仕タ
リ、裁判官ノ特立不羈ニシテ、人民倚信スル
ニ如カズ、故ニ司法警察中、特ニ檢視引致、搜
索、訊問、取供ノ事ヲ分テ、爲ニ糾問法官ヲ設
ケ、現行犯ヲ除クノ外、目代ト兩立分行セシ
メ、目代ヲシテ檢、且、訊スルノ事ヲ專ラニセ
シメズ、之ヲ慎テ又慎ムナリ、メーグノ子
ウ氏ニ据ル何
故ニ司法警察官吏ノ數員ヲ限り、其ノ它ノ
官吏ハ、其ノ權ヲ有セザル乎、曰、司法警察ノ
事ハ、民權ニ逼迫ス、其ノ事至重ナリ、故ニ法

章ニ於テ慎密ヲ加ヘ、其ノ官吏、定名アリ、其
ノ事爲、定式アリ、其它ノ人、敢テ其ノ事ヲ越
行スルコトヲ得ズ、故ニ邏卒警兵ハ、命ヲ受ケ
拿捕シ、及現行犯ハ命ナクシテ拿捕スルモ、
亦司法警察ノ權ヲ有セザルナリ、邏卒、警兵、
已ニ司法警察官吏ニ列セズ、野警人、林警人、
獨リ司法警察官吏ニ列スルハ、何ゾヤ、曰、村
邑荒涼、山野曠漠、目代諸員ノ足跡、及バザル
所アリ、ニ警人ニ委シ、追捕証告ノ權ヲ有セ
シム、已ムコトヲ得ザルニ出ルナリ、

○第六章

目代職務

目代職制、別卷ニ詳ニス、今特ニ刑事ニ係ル者ヲ舉ク

沿革并大意

目代ノ起ル、其ノ初メ、普通ノ代言人ニシテ、國王
 托スルニ王家ノ訖ヲ以テスルニ過キズ、即チ英
 國ノ王
 家代如シ言人 中古始メテ其レヲシテ忠國ノ誓ヲ宣
 ヘシメ、專ラ王事ヲ代訟シ、各民ノ私訟ニ關カル
 一無カラシム、始メテ王目代ノ名アリ、千五百七
 十九年ノ令ニ曰、王家ノ目代ハ、告發人アルヲ待
 ツ一無ク、罪犯ヲ檢探シ、捷速ノ追糾ヲ爲ス、一

司法省

掌トルト、是レ目代主トシテ刑事ヲ職トスルノ
始メナリホースタン、ヘリー氏及
コルチス、カデ氏ニ指ル
目代ハ國王ノ代言人タルニ過キズシテ、而シテ
專ラ檢察刑訴ノ事ニ任スル者ハ、何ソ乎、蓋シ國
王ハ、全國ノ總大看守ノ任ニ居リ、人民ハ爲ニ全
國ノ安堵ヲ護ル、其ノ罪犯アリテ、世ヲ害シ、民ニ
禍スルニ當テ、之ヲ追駈スルノカアリテ、之ヲ究
治スルノ義アル者、國王ニ非スシテ、誰ソ、目代王
ノ爲ニ代辨シ、從テ罪ヲ檢シ、犯ヲ訴フルヲ以テ
務メトスル所以ナリ、同上

目代刑事ノ訴ヘ稱シテ公訴トス、各民ノ私訴ニ
分ツナリ、蓋シ王家罪ヲ討スルノ權ハ、即チ衆ノ
爲ニ公福ヲ護シ、公害ヲ除ク所以ナリ、故ニ目代
ノ職ニ於テ、第一ノ元則トスベキ者、曰ク、公訴ハ
公衆ニ屬ス、蓋シ人民、公訴ノ權ヲ行政權ニ托シ、
行政權又之ヲ目代ニ委ス、是レ一世ノ公法ナリ、
故ニ目代ノ職務ハ、一ラ法章ニ依リ、直道ヲ護ル
ニ在リテ、王家ノ私利ヲ濟スニ非ルナリ、同上
按スルニ、目代罪犯ヲ訴フ、是レ我カ民俗ニ
在テ、耳熟セザルノ語ナリ、蓋シ判官、告無ケ

司
法
官

レハ理セズ、訟廷閑ク、原被對訟、判官臨テ其
ノ當ヲ裁ス、檢官ハ、卽チ刑事ノ原告人タル
者、公私ノ別アリト云ヒ、亦誅ヘト稱スルニ
過キザルナリ、

佛蘭西ノ法、罪犯アジバ、各人ノ民之ヲ目代ニ告發
報知スルヲ得、自ラ公訴人即チ刑事原告人トシテ、直
チニ法官ニ向ヒ、刑ヲ求ムルヲ得ズ、公訴人ト
シテ、法官ニ向ヒ、罪人ヲ刑スルヲ求ムルハ、獨
リ專ラ目代ノ任タリ、但シ抵償ヲ求ムルノ私訴
此ノ限ニアラズ、又懲治犯以下、何故ニ論告ハ權
各人自ラ共訴ヲ行フヲ得、

テ各人民ニ奪ハテ、獨リ之ヲ目代ニ與ヘタル乎、
蓋シ古昔蒙昧、未タ檢彈ノ官制アラズ、人々各自
告訴ハ權ヲ有シ、弱キ者ハ強暴ニ屈辱シ、訴ヘ争
ハハカナクシテ、以テ罪人網ニ漏ルハ、ヲ致シ強
キ者ハ娼嫉怨恨、卑猥ハ情姦ヲ挾ミ、以テ良民ヲ
排陷シ、輾轉相仇トシ、妻其ハ夫ヲ誅ル者アリ、奴
其ハ主ヲ告ル者アリ、告訴ハ權、譬ヲ報ヒ私ヲ快
カスルノ具タルニ過キズ、羅馬ハ亡フル所以、讒
誣ハ風、其ハ一ニ居ルナリ、中古ニ至リ、王家ニ目
代官ヲ置キ、始メテ私訴ノ途ヲ塞キ、相因テ今ニ

至リ、目代罪ヲ糾シ惡ヲ責ムルノ任ニ居ルト云
也、亦公ヲ持テ平ヲ執ルノ意ヲ失ハズ、コルマ^ル氏
及^ル子^スカ^カニ^テ振^ルル^カ

按スルニ、刑法ノ元則ニ曰、允^テ刑^ハ以^テ公
害ヲ除クナリ、以^テ仇ヲ報復スルニ非スト、
目代ハ、即チ仇ヲ報スルハ誅ヲ塞キテ、害ヲ
除クノ務メヲ行フ者ナリ、

ホ^リスタン、ヘ^リ氏曰、モンテスキウ氏、目
代ヲ以テ中世王家一統ヨリ出タル良制ノ
一トス、信ナリ、又^ハ人^類ノ開化中ニ為シタル

取大事ノ各民單子ノ務メニ代フルニ、公權
ヲ以テシ、孤獨ノ力ニ代フルニ、一世ノ勢力
ヲ以テス、私誅ニ代フルニ、公誅 取モ要用ナ
リトスル所以ナリ、目代ノ制、夙ニ佛國ニ始
マリ、歐洲諸國、漸次之ニ倣ヒ、伯耳義、荷蘭陀、
意太利ノ三國ハ、現ニ佛ト異ナル^ル無シ、獨
乙ニ於テハ、中古ノ糾問法ノ遺風ニ因リ、檢
彈ノ權、裁判官ニ屬シ、裁判官其ノ職權ノ一
分ヲ失フ^テ恐レ、久シク檢官ヲ設クル^テ
ヲ拒ミタリシガ、近時、普魯西諸邦、始メテ目

同法

代ヲ置キ、追究平ヲ持セシメタリ、英國ニ於
 テハ、猶目代ノ設ケアラズ、被害人、人々自ラ
 訴ヘ、其ノ原告者ナキ時ハ、大陪審アリテ、王
 ノ爲ニ檢彈ヲ行ヒ、又凡、王ヲ侵シ、及世治
 ヲ害スル者ハ、罪重大代言人アリテ、王ノ爲ニ
 論告スルノミ、然ルニ、スウェットランド蘇格蘭土、英國ノ一部英國ノニ於
 テハ、王家ノ上等代言人、公訴ヲ行ヒ、佛ノ目
 代ト異ナルヲナシ、此レ亦一奇ナリ、
 モーリス、ブロッツク氏曰、英ニ目代ナシ、但、被
 害人及各氏、重罪ヲ訴フルノ義務ヲ有シ、而

シテ王家亦同ク檢彈ヲ行フ而已、近時、王家
 訴ヲ行フノ漸次増加スル者ハ、目代ノ建設
 ヲ願フ者衆キニ居レハナリ、
 古、目代ト裁判官ト、互ニ相兼行シ、職制未々明劃
 ナラズ、凡テノ裁判官、皆目代タリノ語アリ、革命
 以來、職ヲ分チ官ヲ定メ、法ニ據ルニ、公訴ハ、法章
 任スル所ノ官吏ヲ除クノ外、之ヲ行フヲ得ズ、
 而シテ目代故障不在アルニ非レハ、裁判官之ヲ
 代理セズ、ボースタシヘリ氏○但
 按スルニ、判官ハ、專ラ告ヲ承ケテ後、原被ハ

間ニ中立シテ直ヲ持スルヲ掌リ、檢官ハ、
 判決ノ權ナクシテ、獨リ罪ヲ追シ裁ヲ求ム
 ルハ任ニ居ル、檢官、判官ノ評議ニ參シ、裁判
 ヲ然否スルヲ得ズ、裁決ノ後、控訴上告ス
 判官ハ、告無ケレバ理セズ、檢官ヲ待タズシ
 テ、自ラ檢探擿發スルヲナシ、行犯ニ於ケル
ハ、此ノ限ニアラズ、○獨リ上等裁判官負ハ
輕重罪犯ヲ本裁判所ニ誅告シ、本裁判所、為
ニ合員會議ヲ為シテ、其ノ大目代ヲ喚召シ、
其ノ事ヲ追糾セシムルノ權アリ、千八百十
年四月二十日ノ法、此レ目代ハ政府ニ屬ス
ルノ官ナルヲ以テ、或ハ政府ノ為ニ廻避シ
テ、豪姓勢家ノ罪ヲ犯ス者、僥倖網ニ漏ル、
テ、恐ル、ガ為ニ設クルナリ、然ルニ其ノ

法アリト云ドモ、其ノ實至テ稀ナルノ事、嘗
 テ僅ニ一事其ノ例アリシヲ見タリト云ボ
 アソナ、今何故ニ判官、檢察ノ權ヲ割キ之ヲ
 檢官ニ任シタル乎ト問フニ至テ、蓋シ判官
 ヲシテ、檢察ノ事ヲ兼ネ行ハシメ、且、檢シ且
 判スル時ハ、則チ已ニ自ラ罪犯ト仇ヲ為ス、
 勢ヒ舞文苛法ノ患アルヲ免レズ、猶何ソ其
 ノ中立シテ直ヲ執ルヲ望マン乎、現ニ二十
 年前、獨乙諸邦、未タ目代ノ官制アラズシテ、
 檢彈亦法吏ノ職トシ、慘刻風ヲ成シタリ、故
 ニ、千八百四十九年正月、普魯西王始メテ目

國法
 卷第

代ヲ設クルノ命辭ニ曰、允ソ檢職ハ刑事ニ
 於テ、法章ノ施行嚴慎ナルヲ防守スルハ
 任ニアリ、故ニ獨リ專ラ罪人網ニ漏レサル
 ヲ監スルハミナラズ、亦無罪横虐ニ陷ル
 ハ、無ラシク保スルヲ要スト、未食、ホ
 リ、リ、氏ニ据ル
 佛國ノ民俗、檢官ヲ稱シテ立法官トシ、判官
 ヲ稱シテ坐法官トス、其ノ訟廷ニ在テ、一ハ
 起立シテ言ヲ述ヘ、一ハ、居坐シテ裁ヲ宣フ
 ルヲ式トスルニ因ルナリ、エ、ル子スカ然ル

ニ二官事務ハ別、亦坐起ノ異ナル有ルニ似
 タル者アリ、罪犯ノ糾治ヲ發起シ、之ヲ探索
 追跡シテ、之ヲ判官ニ付シ、豫審ヲ求メ、論告
 ヲ求メ、公廷ニ訟ヲ持シテ、又擬律ヲ求メ、處
 斷已ニ終テ、決配ヲ監ス、始終ニ周旋シテ刑
 事ヲ成行スル者ハ、目代是レナリ、而シテ坐
 法官ハ、椅ニ憑リ、靜退シテ被告至ルヲ待チ、
 告訴ノ當否ヲ裁シテ處スルニ法章ヲ以テ
 スル而已、此レ二官ノ事ヲ執ル體裁氣象、互
 ニ相反スル者アリ、ハ、氏ニ据ル

檢察旧記司
法警察

目代刑事ノ務分テ二段トス、曰、檢、曰、訴、檢察官トシテ罪犯ヲ檢探シ、公訴人トシテ、訟廷ニ出頭シテ、罪ヲ論シ、罪定テ、法ニ依リ科律ヲ求メ、及處刑ヲ監ス、ホリスタン、

各郡裁判所目代一人、目代輔一人、目代隨意ニ輔員ヲ以テ檢察ニ專任シ、或ハ臨時自ラ任スルヲ得、裁判所ニ延アル者ハ、輔二人、其ノ一人ヲ以テ檢察ニ任スルヲ得、三延アル者ハ、輔四人、其ノ二人ヲ以テ檢察ニ任スルヲ得、以上之ニ準

ス、千八百十年
五日ノ法

目代各郡ヲ分テ事ニ任ス、凡ソ犯所ノ目代犯人居住ノ地ノ目代及犯人ヲ發獲スル地ノ目代共ニ檢訴ノ權管ヲ有ス、

各郡裁判所ノ傍ニ目代局アリテ、目代若クハ目代輔之ニ居リ、郡中ノ重罪及懲治罪犯ヲ檢シ、告訴告發ヲ受ケ、及郡中ノ檢察官ヲ總ヘ、各官送付スル所ノ告訴告發及報知ヲ受ケ、嚴密ニ其ノ狀ヲ按シ、若シ其ノ事不正ナリト云、氏、法章ニ觸レハ、如ハ、類及一ハ証據ナキ者ハ、退ケテ理

七、此ハ時、訴ヲ付ケテ理セズ、ト其ノ違警罪犯
云、此ハ時、訴ヲ付ケテ理セズ、ト
 二止マル者ハ、警察使ニ送致シ、違警罪犯ハ、警察
シ、目代千其ノ懲治罪犯ニシテ、証据明白ナル者
カラズ、
 ハ直チニ懲治裁判ニ向テ論訴シ、其ノ或ハ事情
 未タ白セス、猶疑フベキアル者ハ、請牒ヲ附シ、糾
 問法官ニ送り、糾治ヲ求メ、其ノ重罪犯ニ係ル者
 ハ、皆糾問法官ニ送り、糾治ヲ求ム、重罪犯ヲ慎
 法官、目代ノ請牒ヲ得ルキハ、即チ糾治ノ處分ヲ
 始ム、請牒式、後一見ユ、即チ糾治
ヲ求ムルノ意ヲ述ルノ文、
ホースタン、ヘリー氏曰、目代告訴ヲ受ケテ

後、處分ヲ行ハザルトヲ得ル者アリ乎、曰、二
 類アリ、一ハ實ヲ保スルノ証据アルト無キ
 者、一ハ事、刑法ニ觸レザル者、是レナリ、然ル
 ニ、告訴人目代ヨリ付ケラル、ノ後、若シ公
 訴ノ方ニ由ラスシテ、變シテ抵償ヲ求ムル
 ノ私訴人タルキハ、目代ヲ待ツトナク、懲治
 罪犯ハ、直チニ懲治裁判所ニ向テ、裁ヲ求ム
 ルトヲ得、而シテ懲治裁判所ノ法官ハ、受ケ
 テ之ヲ理セザルトヲ得ズ、其ノ重罪犯ハ、直
 チニ糾問法官ニ向テ、糾治ヲ求ムルトヲ得、

同世
 同世

即チ糾問法官ヨリ目代ニ通シテ目代例ニ
 仍リ請牒ヲ附セザルヲ得ズ、私訴人ノ權ヲ特重ニスル者ハ、其ノ敗訟ノ科費ニ任スルヲ以テナリ、
 オルトラン氏曰、目代及糾問法官、告發告訴
 及私訴要償ヲ受ケタル時ハ、必ス處分判理
 スルノ責アル乎、或ハ所見ニ隨ヒ置テ理セ
 ザルヲ得ル乎、治罪法ニ明詳ノ文ナシ、是
 レ重大問難タリ、刑法家者流ハ、說ニ據ルニ
 刑法家ハ、專ラ刑學告訴告發ハ、猶報知ノ類ニ
 法ヲ講スルノ學、故ニ理スルト理セザ
 シテ、未ダ訴願タラズ、故ニ理スルト理セザ

ルト、檢官ノ品論ニ隨フ而已、若告訴人更ニ
 企テ、要償私訴人ト爲ルニ至テハ、位置斯
 ニ變ス、是レ訴願ニシテ報知ニアラズ、糾問
 法官ノ判理セザル、則チ拒告受告トス、目代
 ノ告ヲ斥クル、則チ越權トス、訴ヲ裁スルハ、
テ目代ハ獨リ訴ヲ然ルニ、實際現行スル所
送ルノ任ニ居ル、ニ據ルニ、檢官獨リ告訴告發ヲ斥クルハ、
 ナラズ、并セテ私訴ヲ斥クル、一ニ其ハ自
 由ニ任ス、是レ懲治犯違警犯ニ在テハ、猶可
 ナリ、是レ訴人ニ教ヘテ云カ如シ曰ク、爾ハ

欲スル所ニ隨ヒ、直チニ裁判所ニ訴ヘヨト、
懲治犯以下ハ、各一民直チニ 其ハ重罪犯ニ在
裁判所ニ訴フルトテ許ス テハ、是レ真ニ拒イテ法官ヲ見ルトテ得ザラ
シムルナリ、重罪ハ、各民直チニ ○綜計表ニ
訴フルトテ得ズ 掲ルニ、告訴、告發及証告書ノ目代ニ致シ、目
 代檢査ノ後、棄テ、處分セザル者、千八百六
 十三年ニハ、十一萬八千七百四十八件、千八
 百六十四年ニハ、十二萬二千二百零一件ト
 ス、推シテ之ヲ上スニ、一年一年ヨリ多キト、
 大抵五分ノ二以上タリ、

糾問法官、被告人ヲ喚問スルニハ、目代連班スル
 一無シ、但原告人直チニ糾問法官ニ告狀ヲ呈ス
 ル者ハ、糾問法官必ス目代ニ通告シテ、目代ヲシ
 テ請牒ノ例ヲ行ハシメ、又目代何時ヲ論セズ、二
 十四時間ヲ約シテ、糾問法官ヨリ文書ヲ借閱ス
 ルトテ得、收監狀ヲ下スニハ、必ス目代ハ意見ヲ
 取リ、收監ヲ慎重ナリ 被告ノ家ニ入テ、証贓物件ヲ押
 收シ、及犯罪當場ニ進行シ、檢視スルニハ、目代ハ
 同行ヲ要ス、交互監制シテ、專
 横ヲ防クナリ、
 抑、現行犯ニ至テハ、目代亦糾問法官ノ務メヲ兼

ネ行フ、目代及其ノ它ノ檢察官ヲ論セズ、先ツ現
行犯アルヲ知ル者、直チニ當場ニ至リ、情景ヲ檢
視シ、犯人ヲ勾捕セシメ、之ヲ訊問シ、及引致狀ヲ
付シ、証見人ノ陳述ヲ聽キ、人家ヲ搜索シ、証贓物
件ヲ押收シ、驗相人ヲ命シ、處方セシムル等、詳ニ後卷ニ

二開
説ス、

現行懲治罪犯ハ、警察官ヨリ引致スルト否ヤ、目
代訊問一過シテ、或ハ勾留狀ヲ附シ、本日、或ハ異
日マテニ、直チニ懲治裁判所ニ付シテ、裁決ヲ求
ム、是レ千八百六十三年ノ新法、以テ淹滯ナ
カラシムルヲ期スルナリ、詳ニ後ニ見ユ、其ノ

重罪ハ、檢視已ニ畢テ、請牒ヲ附シ、糾問法官ノ糾
治ヲ取ルルモ、慎重ヲ失ハズ、

糾治終リテ、書案成リ、糾問法官之ヲ目代ニ付シ、
目代、三日内ニ、意見狀ヲ糾問法官ニ送り、各裁判
所ニ送付スルヲ令スルヲ求メ、糾問法官ノ
令狀ヲ得、處分施行ス、詳ニ豫審落着
ノ章ニ見ユ、是ニ至テ、目
代、檢察ノ務メ終ル、是レヨリノ後、公訴論告ノ務
メトス、公訴論告、詳ニ
下編ニ見ユ、
目代已ニ罪犯ヲ各裁判官、若クハ糾問法官ニ訴
ヘタルノ後、其ノ無罪ナルヲ知ル時ハ、自ラ其

ハ訴ヘテ棄ツルトテ宣言スベシ、裁判官ハ、仍其ノ事ヲ裁判シ、然ル後ニ解放ス、蓋シ公訴ハ、調諧スルトテ得ズ、ホースタン、ヘリ」氏
目代ハ大目代ノ管攝ニ属ス、故ニ郡内ニ發スル所ノ罪犯アルゴトニ、即時大目代ニ報知シ、及八日ヲ隔ツルゴトニ、重罪懲治罪違警罪犯ノ簿表ヲ大目代ニ送ル、大目代己自、知ル所ノ罪犯ヲ檢彈スベキノ命ヲ目代ニ下シ、或ハ司法執政ヨリ下ス所ノ命ヲ遞下ス、諸官員若クハ各人ヨリ、直チニ告發告訴ヲ大目代ニ呈スル者ハ、大目代受

ケテ、之ヲ目代ニ下ス、

按スルニ、治罪法ニ、親往檢視ヲ以テ目代職務ノ第一ニ置キ、又千八百十年ノ法ニ据ルニ、目代輔、各區ニ派出シテ、檢察ヲ行フ、然ルニ現今實際ヲ按スレハ、目代通常目代局ニ居テ、警察使若クハ備警兵分隊長ヨリ送付スル所ノ罪犯証贓ヲ受ケ、其ノ重罪犯ヲ糾問法官ニ送り、其ノ懲治罪犯ヲ訊問一過シテ、直チニ裁判所ニ付ス、蓋シ千八百六十三年、現行懲治犯即決法アリシ以來、目代事務

日夕繁劇、故ニ親往檢視ノ事、大抵警察使ニ
委シ、處行セシメ、目代及糾問法官、絶^エテ自ラ
出ル^ル無シト云、今^ママキシム、ヂユ、カン^ル氏ノ
巴里事情、名書都府檢察ノ事實ヲ載スル者ヲ
抄譯シテ、以テ目代職務ノ實際ヲ見ル、
凡テ重罪懲治罪ノ被告人、警察廳ノ勾留所
ニ寄監シタル者、拿捕ノ後二十四時内ニ、目
代局ニ引致シ、訊問ヲ受ク、目代局ニ於テハ、
二人ノ目代輔、毎日一人、務メニ直^ル局、狹隘
暗慘、地窖ニ似タルアリ、人ヲシテ夏慄セシ

ム、廊下、白晝灯ヲ点シ、囚往來填咽シ、備警兵
二十人、伍長一人、一囚至ルゴトニ、兵一名者
押シテ、目代ノ前ニ至ル、目代案ニ當リ、書記
官連坐シテ、訊ヲ行フ、此ノ時、警察廳ヨリ送
リタル諸証憑、警察使ノ証告書、已ニ目代ヲ
シテ犯情、及犯人ノ身分、并ニ其、父母ノ身分
ヲ洞知セシム、衆囚、戸ニ候テ、訊問捷速、大抵
半時ニシテ終ル、此ノ時ニ當テ、目代任意ノ
權ヲ有シ、其ノ法ヲ執ル^ル稍、厚カラザラシ
ノバ、横斷枉制、亦難キ所ニアラザルナリ、而

シテ次ヲ逐テ入ル者、無産、乞丐、拘摸、欺騙、乱
民、奔女、凡百棍徒ノ群、在ラザル所ナシ、若シ
其ノ事犯、理スルニ足ラザル者ハ、目代告戒
ヲ致シテ、直チニ解放ス、若、其ノ刑法ニ觸ル
者、及ヒ供狀明白ナル者ハ、期限中ニ懲治
罪裁判所ニ引送ス、蓋シ千八百六十三年五
月ノ法、現行懲治罪犯ノ捕ニ就キタル者ハ、
目代直チニ裁判所ニ送付スルヲ要ス、故ニ
例如ヘハ、五月三十一日夕八時ニ、捕ニ就キ
タル無産人、六月一日、目代局ニ訊問ヲ受ケ、

二日ニ、刑廷ニ裁ヲ受ク、五月二十七日行盜
犯、二十八日、發覺シ、二十九日、捕ニ就キ、三十
一日、目代局ニ付シ、六月一日、訊問ヲ受ケ、二
日、刑廷ニ送ル、此ノ法アル所以ノ者ハ、以テ
淹滞ヲ防キ、且、以テ監倉ノ填塞ヲ除クナリ、
然ルニ又其ノ專ラ被告人ノ爲ニ謀リ、法司
ノ爲ニ要用ナル探問ノ時ヲ遺サミルヲ以
テ、法司ヲシテ往々失錯アルヲ免レザラシ
ム、法ニ迫リ急遽ノ間、警察廳、或ハ諸証款ヲ
完聚スルヲ能ハズシテ、目代ニ送付シ、目代、

或ハ偽名ヲ辨スルヲ能ハズ、異日再々ヒ索
メントスルノ犯人ヲ認スルヲ能ハズシテ、
之ヲ解放スルニ至ル、若シ乃チ被告人承服
セズシテ、事情白シ難キ者ハ、更ニ糾問法官
ニ送り、覆審ス、或ハ目代本官、
自ラ覆審ク、千八百六十八
年ノ綜計ニ据ルニ、目代局ヨリ糾問法官ニ
送ル者、九千五百七十三件、直チニ懲治裁判
所ニ送ル者、九万零五百九十件、糾問法
官、解放令狀ヲ付スル者、八百八十七件、目代
情輕キヲ以テ追究ヲ免ス者、一万三千四百

十四件、是歳、檢廷ニ訊ヲ受クル者、男女凡三
万零九百五十六人、平均一日、約八十五人ニ
シテ、其ノ一万四千二百五十三人ハ、目代輔
ノ解放ヲ得、九百四十二人ハ、糾問法官ノ解
放ヲ得、一万五千八百六十一人ハ、各刑廷ニ
送致セリ、抑速決ノ法ハ、輕罪ヲ以テ謂フナリ、
若シ夫レ賊盜兇殺等重罪ニ至テハ、警察廳、訪
察証告シテ、被告人ヲ畧訊シ、証贓ヲ搜索押
收シ、目代、糾問法官ニ報知シテ、請牒ヲ附シ、
糾治ヲ求ム、原文
止此以上謂フ所ニ据ル時ハ、治

罪法載スル所檢視ノ事ハ、實地大抵警察官
之ヲ行ヒ、目代ハ、大抵輕罪現行犯ノ豫審ヲ
行ヒ、糾問法官ハ、大抵重罪ノ豫審ヲ行フナ
リ、是レ事務益繁ナルノ勢ヒ、以テ此ニ至ラ
シム、怪シムニ足ラザルナリ、

○第七章

糾問法官

原名 ヲユジ、ダンス トリユク シオ
直譯 訊問ノ裁判官 ト云ノ義 ナリ

舊治罪法、每下等裁判所ニ、議事局ナル者アリテ、
糾治訊問ノ事ニ任シ、罪犯ノ證憑明備スルヲ待
テ、之ヲ各裁判所ニ送付スルヲ命ス、然ルニ、其
ノ繁委曲折徒ラニ犯人ノ拘留ヲ稽延スルヲ以
テ、千八百五十六年ノ法、議事局ヲ廢シテ、糾問ノ
權ヲ一員ノ法官ニ專任シ、名ケテ糾問法官トス、
糾問法官ハ、單獨責任シテ、糾問訪察シ、犯情ヲ秤

糾問法官

量シ、其ノ証憑舉ラズ、以テ罪ヲ論スルニ足ラズ
トスル者ハ、放遣シ、以テ違警犯ナリトスル者ハ、
警察裁判ニ送り、以テ輕罪ナリトスル者ハ、懲治
裁判ニ送り、以テ重罪ナリトスル者ハ、重罪問擬
局上等裁判ニ送り、以テ命ス、目代命ヲ承ケテ施行ス其ノ任
タルヲ、甚タ重シト云ベシ、ログロン氏
糾問法官ハ、目代諸官ト共ニ名ケテ檢察官吏ト
シ、並ニ大目代ノ監督ニ屬ス、故ニ糾問法官、失怠
アルハ、大目代之ヲ告戒シ、更ニ重キ者ハ、上等
裁判所ニ告發ス、但シ糾問法官ハ、獨リ大目代監
督ノ下ニ在リテ、其ノ屬タル

ニ非ス、目代ノ大目代管屬ニ係
ル者ト同カラス、ロクン氏云
通法ニ於テ、現行犯ニ非目代ノ事務ハ、告誡告發
ヲ受ケ、直チニ糾問法官ニ向ヒ、請牒ヲ附シ、糾問
ヲ求ムルニ限ル、喚問、取供、檢視、搜索シ、拿捕、勾留
ヲ命スル、皆糾問法官之ヲ為ス、而シテ糾問法官
ハ、目代ヨリ請求スルノ後ニ非レハ、糾治處分ヲ
始ムルヲナク、檢視、搜索ニハ、目代隨同シ、糾治已
ニ畢テ、又文書ヲ目代ニ移シ、其ノ意見ヲ取ル、是
レ目代ト糾問法官トハ、互ニ相公同シ、若シ不法
アレバ相連ネテ罪ヲ負フ者トス、立法者用意ノ

至レルナリ、ローグン子ウレ氏〇其現行犯ニ於テ
每郡郡裁判所ニ糾問法官一人ヲ置ク、一裁判所
二三局アル以上ハ、二人ヲ置ク、巴里府ニハ、二十
人ヲ置ク、若、糾問法官一員ノ地ニシテ、故障アル
糾問法官ハ、國王ノ命ヲ以テ、裁判官、若クハ裁判
官出仕ノ者、年二十五ニ滿タザル中ヨリ、特派ス、三
年一任トス、又再ニ任スルヲ得、
糾問法官、故造、貪贖、及承告不理、及重失錯アル時
ハ、其ノ罪ニ任ス、訴訟法五百零五條、治罪法七十
七條、百十二條、三百三十八條、
然ルニ此レ法律用意ノ至リニシテ、希ニモ有

ヲザルノヲタリ、ローグン子ウレ氏、下三條、並同、
糾問法官ノ務メ、亦分テ兩段トス、一ハ、目代ノ訴
ヲ受ケテ、豫審ヲ行フ、其ノ大目、曰、取供、曰、親往檢
視、曰、家宅ヲ搜索ス、曰、物件ヲ押收ス、曰、証人ヲ喚
問ス、曰、驗相人ヲ命ス、曰、喚徵狀引致狀、曰、留狀、收
監狀ヲ發ス、曰、被告人ヲ假釋ス、曰、被告人ヲ禁閉
ス、一ハ、情狀已ニ白スル時ハ、文書ヲ目代ニ移シ、
其ノ意見ヲ取ルノ後、被告人ヲ解放シ、若クハ各
裁判所ニ送付スルノ令狀ヲ發ス、是レナリ、
糾問法官ハ、獨立不倚ヲ以テ、審訊ヲ行ヒ、檢察官

ノ論告ノ為ニ拘束ヲ受ル^トシ、目代罪狀明白
 頭証無シトシ、目代重罪ヲ以テ請ヒ、其ノ處分專
 糾問法官輕罪ヲ以テ換スルノ類
 一〇己ノ意ニ隨ヒ從テ一己ノ責ニ任ス、
 現行犯ニ於テ目代ヨリ証告書即チ罪案ヲ上呈シタ
 ルキハ、糾問法官之ヲ檢閲シテ、其ノ欠失ヲ改正
 スル^トヲ得、治罪法六十條又目代具上スル所ノ証人ノ
 外、它ノ証人トスベキ者アレバ、之ヲ喚問スルヲ
 得、治罪法七十一條〇此レ皆目代ノ
 論告ニ拘束セラレサルノ証ナリ、
 糾問法官糾治ノ間、被告人ハ、自ラ辯スル為ニ代
 言人ノ助ケヲ借ル^トヲ得ズ、廷質答辯ル^トヲ

得ズ、但答辯書ヲ作テ、法官ニ呈スル^ト得ルノ
 事、^トラシク

糾問法官ノ處分ハ、何時ヲ論セズ、原被兩造目代、私
 訴人、及共ニ上等裁判所ノ重罪問擬局ニ控告ス
 被告人、及共ニ上等裁判所ノ重罪問擬局ニ控告ス
 ル^トヲ得、但シ被告人ノ控告ハ、糾問法官ノ越權、
 及ヒ故ナクシテ保釋ヲ拒ムノ時ニ限ル治罪法百三十五條
 目代ヨリ糾問法官ニ送り、糾治ヲ求ムル者ハ、一
 ニ曰、重罪、現行、非現行犯ヲ論セス、二ニ曰、懲治罪
 ノ非現行犯ニシテ、事情未タ白セザル者、是レナ
 リ、其ノ他、懲治罪ノ現行犯ニ出ル者、及其ノ情狀

已ニ明ナル者ハ目代直チニ懲治裁判所ニ論告

シ、糾問法官ヲ經由セズ、警延ヲ避、又違警罪犯

豫審スルヲ無シ、但シ初メ視テ重犯トナシ、糾治

裁判所ニ送付スル、後、違警犯タルヲ知リ、警察

ハ、則チコレアリ、

糾問法官處務ノ前段、已ニ終リ、情狀明白シタル

時ハ、即チ後段ニ及フ、後段處務、詳ニ豫審
落着ノ章ニ見ユ

按スルニ、拿捕勾留搜索ハ至重ノ事故ニ建

國法、特ニ之カ條ヲ掲ケテ、之ヲ行フニ定式

アリ之ヲ命スルニ定職アリ定職ヲ以テ定

式ヲ行フニ非レバ人民タル者肯テ勾捕抑

勒ヲ受クルトナカラシム、定式ハ、即チ喚徴

狀引致狀、勾留狀、收監狀、搜索狀、諸式、及治罪

法ノ條章ナリ、定職トハ、則チ糾問法官、是レ

ナリ、其ノ檢官ヲ以テセズシテ、必ス裁判官

ヲ待ツ者ハ、其ノ終身在職、特立不拔ノ重キ

アリ、從テ持平無黨ノ特ミアルニ因ルナリ、

ブー、氏曰、千八百五十六年以來、糾問法官

ハ、二務ヲ兼ヌル者トス、第一、檢察官トシテ、

探問搜索ヲ行ヒ、第二、裁判官トシテ、豫審

決ヲ裁ス、

○第八章

目代補助諸員

按スルニ、良ヲ扶ケ惡ヲ除キ、人民ノ安堵ヲ
 護スルハ、檢官ヨリ要ナルハ莫シ、檢官アリ
 テ、網羅徧カラズ、兇棍竊發ス、是レ檢官無キ
 ニ若カズ、區ヨリ邑ニ及ヒ、文武官吏數員ヲ
 シテ、檢察ノ事ヲ帶行セシムル所以ナリ、備
 警兵士官ハ陸軍ノ一部、保安法官ハ法官ノ
 列、邑長、警察使ハ地方ノ官吏、并ニ被ラシム
 ルニ目代補助ノ名ヲ以テシ、通常目代ヲ左

右シ其ノ現行犯ニ在テハ目代為ル所ノ事ヲ代行ス、

「リ」氏曰、檢察諸官ノ職務固有ノ任アリ、補助ノ任アリ、警察使、邑長、副邑長ノ違警罪ニ於ケルハ固有ノ任ナリ、其ノ重罪懲治罪ニ於ケルハ目代ヲ補助スルノ任ニ居ルノミ、固有ノ任ニアラズ、林警人、野警人ハ、林野ノ事ニ於テ、固有ノ任ニ居リ、而シテ目代補助ノ權ヲ有セズ、保安法官、備警兵士官ハ、目代補助ノ權アリテ、更ニ固有ノ專任ナシ、

備警兵士官

備警兵ノ事、第三卷ニ詳ニス、今特ニ士官檢察ノ事務ヲ舉

備警兵、佛全國、二十六編隊、每編隊、大將一人、每縣一隊、每隊、隊長一人、每郡、分隊長一人、分隊長以上ヲ士官トス、各區屯長以下ハ、士官ニ列セズ、備警兵士官ハ、司法檢察官ノ任ヲ帶ヒ、分隊長、本郡目代ノ補助トシテ、本郡内ノ檢察事務ヲ行フ、本郡ニ通行セズ、備警兵士官、檢察事務ヲ行フニ付テハ、糾問法官、及目代、大目代ノ指揮ヲ承ケ行フ、其ノ怠慢不職ナル時ハ、大目代ヨリ教戒シ、再犯スル時ハ、上等

裁判所、状ヲ下シテ督責ス、
現行罪犯ニ付テハ、檢視、訊問、拿捕、搜索、給テ目代
爲ル所ノ事ヲ行フ、

非現行罪犯ニ付テハ、重罪懲治罪ノ告發告誡ハ、
其ノ呈狀ヲ受ケ取り、若クハ陳述ヲ聽キ書録シ
テ、速ニ目代ニ傳送シ、處分ニ供フ、違警犯ノ誅ハ、
自ラ之ヲ受ケ取ラズシテ、其ノ誅人ヲシテ警察
使、若クハ邑長副邑長ノ所ニ至リ、告誡セシム、但
罪質輕重ノ間、疑似明ラメ難キ
者ハ、告ヲ受ケザルヲ得ズ、
備警兵士官、檢察事務ヲ行フ時ニハ、其ノ制服ヲ

着ス、

備警兵士官ハ、居常目代ト往復相通シ、目代、文書
ヲ以テ、其ノ職務處行ヲ求メ、或ハ目代、權分ノ事
ヲ代理差派ス、若シ面話ヲ要スル時ハ、目代ヨリ
文書ヲ以テ喚召スルヲ得、其ノ非常事件ノ如
キハ、喚召ヲ待ツナクシテ、士官自ラ目代ニ詣
リ、謁ヲ執ル、
凡ソ大小ノ事變アリテ、其ノ事司法ノ糾治ヲ要
スル者ナレバ、縣ニ在ルノ隊長ヨリ、急速上等裁
判所ノ大目代ニ報知シ、又隊長若クハ郡ニ在ル

ノ分隊長ヨリ、本郡裁判所ノ目代ニ報知シ、續テ
其ノ措置スル所ノ處分ヲ報ス、

備警兵士官在ラザルノ地ニ於テハ、備警兵員ノ
報告書ハ、屯長下士官ヨリ、二十四時内ニ目代若ク

ハ警察使、保安法官、邑長ニ呈送ス、其ノ副本、分隊長ヲ經テ、本縣

隊長ニ遞上ス、又目代ハ、直チニ下士官ニ面命指令シ、下
士官、命ヲ承ケ處行シ、然ル後ニ分隊長ニ具報ス、

其分隊長アルノ地ハ、必ス分隊長ヨリ目代ニ進ム、
按スルニ、各區屯長ハ、士官ニ列セズト云、
平日行フ所檢察事務ニ於テ、大抵士官ト異

一

ナルヲナシ

隊長以下士官、拿捕ノ命ヲ受ケテ、其ノ時、下士官
及兵員、其ノ地ニ在ラザル時ハ、己レ自ラ拿捕ヲ
行フベシ、

保安法官

按スルニ、每區保安法官一人、即チ警察裁判
ヲ行フノ法官トス、其ノ常職ノ如キハ、此ニ
贅セズ、

保安法官、目代事務ヲ補助スルノ外、治罪法八十
四條九十條ニ據ルニ、糾問法官、其ノ行フベキノ

權務ヲ保安法官ニ委シ、代行セシムルヲ得、
地方ニ、搜索ヲ行ヒ、病ヲ称シ、
出頭セザル証人ヲ問フ等、
速隔

警察官

第九章

警察使

ゴランシ氏 治部字類、カバントシ
氏 國法、プロック氏 國政字類、ボ
ル、セル氏 警察
處務ヲ悉取ス

警察使ハ、行政權ノ官吏ニシテ、治部警察司法警
察ノ二務ヲ兼ネ行フ、

千八百年ノ法ニ據ルニ、凡ソ人口五千ヨリ、一万
ニ至ルマデノ府市ハ、警察使一員ヲ置ク、其ノ一
万ヲ越ル以上、一員ヲ加フ、每一万只又一員ヲ加

フ、犯罪理、此
ノ例ニアラズ、

治部警察ノ事ニ付テハ、其ノ通行警察ニ係テハ、

縣令郡令ノ指揮ヲ受ケ、各地警察ニ係ルハ邑長ノ指揮ヲ受ケ、要スルニ縣令邑長ヲ補助シテ、地方警察條例ノ施行ヲ監シ、時ヲ以テ巡視シ、安寧ヲ護シ、非違ヲ禁スルヲ以テ務メトス、通行警察、各地警察、

後ニ見ユ

其ノ司法事務ニ於テハ、

第一、違警犯ヲ檢察シ、其ノ告訴告發及警吏警士ノ報告ヲ受ケ、警察裁判所ニ論告シ、被告人及証人ヲ喚徴シ、裁ヲ求メ、慶決ヲ施行ス、

按スルニ、違警裁判所、法官、正面ニ在リ、書記、

下ニ在リ、警察使、其ノ側面ニ在リテ、公訴原告ヲ行フ、之ヲ違警犯ノ目代ト云、可ナリ、蓋シ目代ハ、重輕罪ノ警察使、警察使ハ違警犯ノ目代、其ノ管理大小ノ異ナル有ルニ過キザルノミ、

第二、本郡目代ノ補助トシテ、所部内ノ重罪懲治罪犯ノ告訴告發ヲ受ケ、直チニ目代ニ傳送シ、其ノ現行犯ニ於テハ、檢視、取供、及引致狀ヲ下ス等、凡ソ目代爲ル所ノ事ヲ為シ、然ル後ニ亦遲延ナク目代ニ傳送ス、

目代及糾問法官ニ附属シ、或ハ目代、糾問法官ヨ
リ特ニ委任ヲ受ケ、其ノ職務ノ事ヲ派出代行ス、
按スルニ、巴里府ニ於テ、檢察事務ノ闕外ニ
係ル者、罪犯ヲ親檢シ、人家ヲ搜索シ、郵信封
書ヲ押收スルカ如キ、大抵警察使派委施行
ス、又告訴告發人ノ報呈ヲ進ムル_ル、晝夜ア
ル_ルナシ、大抵警察使ニ於テス、又糾問法官
引致狀ヲ下スカ如キ、之ヲ警察使ニ付シ、警
察使ヨリ備警兵ニ下シ、施行セシム、
警察使數員アルノ地ハ、本營大目代、其ノ中一人

或ハ數人ヲ指シテ、專ラ警察裁判ノ公訴事務ニ
當ラシム、
警察使ハ、縣令ニ屬ス、人口六千以下ノ邑市ニ在
テハ、縣令之ヲ任免シ、六千ヲ越ユル以上ノ邑市
ニ在テハ、國主之ヲ任免ス、但、縣令其ノ職ヲ停ム
ル_ルヲ得、大都會ノ地ハ、警察ノ權ヲ政府ニ統_スフ
ス、故ニ警察使ノ撰、政府ニ歸
警察使、治部事務ニ付テ罪アレハ、治部官吏ノ例
ヲ以テ論シ、國議院ノ許可ヲ經テ、其ノ司法事務
ニ付テハ、大目代ノ監督ヲ受ケ、罪アレハ、檢察官

吏ト云ヲ以テ論ス、治罪法四百七十
九條ニ准ルヲ云、

警察使ノ俸資ハ、本邑ノ常費中ヨリ支給ス、

巴里府ニ於テ、警察令ニ属シ、治部警察ヲ行フノ

警察使、凡ソ六十六員、府内八十小區ニ分布ス、巴里

分テ二十大區
八十小區トス、其ノ外、帝宮警察監、一員、商會掛、一

員、金銀保証掛、六員、目代事務ニ派委セララル、者

二員、警察裁判公訴掛、一員、警察使属書記官、九十

人、監吏、百三十四人、

治罪法ニ、コムニセルセテ警察使、総長アリ、警察使総長ハ、大都府

ニ一人ヲ置キ、一縣ノ警察ヲ監ス、千八百十五年

ニ、廢セリ、現ニ今、衝劇ノ府市及郡ニ、コムニセルサントラル大警察使一

人アリ、大警察使ハ、警察使ノ長官タル者ニ非ズ、

但、本府ノ警察局ニ在テ、它ノ警察使及警士諸員

ノ報告書ヲ受管處分シ、縣令邑長ノ指揮ヲ行下

ス、邑長ハ、其ノ附属警士ノ差配ヲ大警察使ニ委

シ、大警察使、專ラ其ノ責ニ任ス、又縣令郡令ヨリ、

一郡ノ警察事務ヲ大警察使ニ任スルヲ得、

大警察使以下、分テ六等トス、

又鉄道警察使アリ、縣令ニ属シ、鉄道警察ノ事ヲ

總ヘ、警士ヲ監督ス、

千八百五十二年以來、區警察使ヲ置ク、區警察使ハ、府市ノ警察使ニ分ツノ名ニシテ、縣地ノ各區、要衝ノ地ハ、區警察使ヲ置クヲ得ル、内務執政ノ決ニ從フ、千八百五十三年、定ムル所ノ警察使、凡ソ七百三十八員、一員、一區内ノ諸邑ヲ警察シ、旧制警察使ヲ置クノ邑、警察使ノ權、本邑ニ止マル、嗣後、一區内各邑ニ及フ或ハ一員、二區ヲ兼ヌ、

千八百五十三年ノ布告ニ據ルニ、區警察使ハ、郡令及目代及大警察使ヨリ下ス所ノ指令ヲ施行シテ、之ヲ復命シ、凡ソ事アレハ、速ニ郡令ニ報シ、

及月報表ヲ呈シ、各邑ノ事件ハ、邑長ニ報シ、少クモ、毎三月一次、區内ノ各邑ヲ巡視シ、邑長ト面會シテ、其ノ指揮ヲ受ク、又少クモ、毎月一次、各邑ノ野警人ヲ順次喚召シ、凡ソ區内ノ野警人林警人ヲ督シ、又其ノカヲボムルヲ得、二警人ハ、事アレハ、速ニ警察使ニ報スル等、

區警察使ノ俸資ハ、半ハ政府ヨリ給シ、半ハ本區諸邑ヨリ給ス、
蕃属地、亦警察使ヲ置ク、
警察使ハ、年二十五以上、四十五以下、能ク報告書

ヲ作ルニ勝ル者ヲ用フ、大抵舊陸軍士官下士官、殊ニ備警兵士官下士官ノ良ナル者、及舊邑長若クハ邑吏、若クハ保安裁判書記ノ能名アル者ニ采ル、

按スルニ、佛國地方ヲ分畫シ、全國八十七縣トス、縣又分テ郡トス、計ソ三百六十二郡ヲ得、郡又分テ區トス、計ソ二千八百六十五區ヲ得、區ノ下ニ邑アリ、計ソ三万五千九百八十九邑ヲ得、千八百七十二年内縣ニ縣令アリ、郡ニ目代アリ、目代輔アリ、糾問法官アリ、

每郡備警兵一分隊アリ、分隊長一人、本郡目代ノ補助タリ、區ニ、保安法官アリ、區ノ衝劇ナル者ハ、警察使アリ、每區備警兵一屯アリ、邑ニ、邑長アリ、副邑長アリ、野警人アリ、此レ檢察官吏布置ノ槩ナリ、然ルニ其ノ實地主トシテ檢察務ヲ行フ者、目代糾問法官ヲ除クノ外、都府ニ在テハ、警察使トシ、郊邑ニ在テハ、備警兵士官及下士官トス、今、邑長ノ檢察、法例ニ特掲スル者ヲ舉ケテ、左ニ附ス、
邑長ハ、一邑警察ノ權ヲ掌トル、

警察使在ラサルノ地若クハ故障アルノ時ハ邑
長、副邑長、主トシテ、違警犯ヲ檢察シテ、警察裁判
ニ論告ス、
邑長、副邑長、共ニ故障アル時ハ邑議員中、第一列
ニ居ル者、之ヲ代行ス、
使部警人、警兵ノ人家ニ進入セントスル時ハ、保
安法官若クハ邑長若クハ警察使之ニ臨視スル
ヲ要ス、官司ノ暇ヲ假テ、強カヲ調制スルナリ、
目代、現行罪犯ヲ檢視シテ、証告書ヲ作ルキハ、邑
長若クハ警察使之ニ參會ス、

若シ黨民アル時ハ、縣令、邑長、警察使若クハ其ノ
他、檢察ヲ兼ヌルノ地方官、當場ニ臨ミ、亂衆ニ向
テ、其ノ解散ヲ要求スルヲ、允ソ三次、毎次、鼓聲若
クハ喇叭ヲ以テ号トス、要求三次ノ後、解散セザ
ルキハ、直チニ兵ヲ用フ、
其ノ他、邑長、副邑長、目代、補助ノ事ヲ行フ、

第十章

林警人

佛蘭西ノ法、全國ノ官林材料ヲ長植スル爲ニ、官
 政府ニ屬スルアリ、官ニ屬スル別ニ法律ヲ建設シ、
 ルアリ、公館ニ屬スルアリ、又管林寮ヲ置キ、會計事務省ニ屬シ
 林法計ニ百又管林寮ヲ置キ、會計事務省ニ屬シ
 二十六條又管林寮ヲ置キ、會計事務省ニ屬シ
 全國ヲ分テ三十二大部トシ、大部又分テ小部ト
 シ、各部官ヲ置キ、其ノ下ニ、林警人アリ、上下相承
 ヲル、編軍法ノ如シ、林警人ハ、警長伍長ニ承ケ、山
 林ヲ巡視スルノ警士ナリ、伍長警人ヲ合セテ、全
 國計ニ千七百八人、林警長馬ニ騎シテ巡回シ、警人

ヲ監督ス、林警長以上ノ部官ハ、山林
學枝ノ得業生ヨリ取ル、
林警人ノ職務ハ、其ノ管守スル山林ノ傍近ニ住
シ、晝夜、其ノ部内ヲ巡視シテ、山林ノ禁ヲ犯セル
懲治犯違警犯ヲ追緝証告ス、重罪犯ハ、現行ヲ除
ク外、唯之ヲ邑長
若クハ官ノ檢察官ニ報知スル
ヲ得、拿捕、及証告ノ權ナシ、巡回スル時ハ、必
ス其ノ制服ヲ着ク、胸ニ花
章アリ若シ禁ヲ犯シ、盜奪斬
伐蹂躪スル者アリテ、覺知証告セザル時ハ、警人
其ノ責ニ任ス、或ハ犯人ニ科スベキノ罰金及抵
償ヲ償當ス、証告ノ法ハ、法ニ依リ、警人手自ラ証
告書ヲ作り、其ノ已ムヲ得ザル事故アリテ、自ラ

作ルヲ能ハザレバ、保安法官若クハ警察使若ク
ハ邑長副邑長ヲシテ聽ク所ヲ手録セシメ、書記
官宜讀シ、警人甘結シテ後、按名花押シ、又保安法
官若クハ邑長副邑長ノ前ニ於テ、遲クモ翌日マ
テニ、証告書正實偽リ無キ旨ヲ保スルノ誓ヲ捧
ケ保誓文ヲ作ル、証告、及保誓式、
野警人亦同シ、其ノ証告書及保
誓文ヲ三日内ニ、部長官ニ送り、部長官下等裁判
所ニ訴告スルニ供フ、官林事件ニ付テハ、山林部
官吏、日代ヲ待タズ、ソテ原
告、日代之カ連生タリ、故ニ違警犯ト云ハ、亦下
等裁判所ニ訴ガスル時ニ山林ノ長、極ヲ護スル為ニ、
罪犯ノ糾治ノ告誡法ハ、違警犯ハ、警察使ニ送り、警
林ノ事犯ノ告誡法ハ、違警犯ハ、警察使ニ送り、警

察裁判ニ訴ヘ、懲治犯ハ目代ニ送リ、下等裁
判所ニ訴フルハ、仍尋常事犯ノ例ニ依ル、山林
部官吏若クハ目代官林事件ニ付テ、山林部官吏
訴告ノ權ヲ有スト云、目代
モ、亦例ニ依テ其ノ權ヲ行
フヲ得、互ニ相妨ケズ、被告人ヲ喚徴スルニ
ハ其ノ証告書及保誓文ヲ喚徴狀ニ載ス
林警人法ニ依ルノ証告書ハ、其ノ罰金及抵償ヲ
合セテ百フランニ至ル迄ハ、法官直チニ按ニ据
リ裁決シ、被告人ヨリ証告ノ偽ヲ駁スル特例訴
訟式ヲ用フルヲ除クノ外、一應証佐人ノ口供ヲ
以テ、証告書ヲ争フヲ得ズ、其ノ百フランヲ踰
ル者モ、亦二人ノ警人、連名花押シタル時ハ、仍前

二同シ、花押ハル者、一人ニ止マ証告書ノ偽ヲ駁
スルノ訟ハ、程式鄭重ニシテ、費用多ク、更ニ正シキ
嫌疑ノ証アルニ非レバ、采聽スルヲ無シ、林警人
証告
書ハ、它ノ檢察官吏ノ証告書ニ比スレバ、更ニ重
キヲ加フ野警人ハ固ヨリ之ヲシ○追緝証告及
押收ノ權ハ、警人ニ止マラズ、林警長、夕山林務官
吏、皆同シ、林警長以上官吏ノ証告書ハ、宜誓ンテ
信ヲ保スル
林警人ハ、山林ノ禁ニ違ヘル犯人ノ器物車馬ヲ
押收シ、又放逸蹂躪セル獸畜ヲ押收シ、又盜奪ノ
林木ヲ追躡シテ、其ノ轉送窩藏セル所ニ至リ之
ヲ勾取スルノ權ヲ有ス、其ノ力足ラザル時ハ、直

チニ備警兵ノ助ケヲ乞フヲ得、搜索ノ爲ニ人家ニ進入スルニハ、必ス保安法官若クハ邑長副邑長若クハ警察使ニ乞テ、其ノ臨視ヲ待ツ、然ラザレハ、妄リニ人家圍場ノ内ニ進入スルヲ得ズ、但シ家主許同スルノ証アル者ハ、此ノ例ニアラズ、野警人亦之ニ準ズ器物車馬ヲ押收シタルキハ、証告ノ保誓ヲ宜ル時、其ノ証告書ノ寫シ一通ヲ保安裁判所ノ書記局ヨリ二十四時内ニ、其ノ所有主ニ通致シ、所有主願情アル時ハ、事犯ノ後五日内ニ、身家アル^ハ納

保人ヲ定メ、及押收ノ^モ盤費ヲ^モ棄除シテ、假リニ其ノ物ヲ還付スルヲ乞フ、保安法官即チ權宜還付シテ、以テ下等裁判所ノ裁決ヲ待ツ、若、所有主、五日内ニ還付ヲ乞ハズ、及的保人ナキ者ハ、保安法官命シテ市ニ^{セリ}賣シ、裁決ヲ待テ、或ハ官ニ入レ、或ハ其ノ本主ニ還付スル者ハ、仍^ホ押收及^モ賣ノ盤費ヲ^モ棄除シ、其ノ餘ヲ給付ス、林警人ハ、又獵禁河漁禁ノ犯人ヲ証告ス、備警兵輕重犯ヲ追捕シ、及税關吏禁制物品ヲ押收シ、若クハ犯禁人ヲ捕フルニ、林警人叶助スル

ヲ要ス、野警人
亦同シ、

ポール、セル氏曰、林警人ハ、獨リ、民警公力士

タルノミナラズ、又軍警公力士ノ類タリ、故

ニ林警人ハ、文武官ノ求メニ應シ、或ハ單獨

或ハ結隊シテ、カヲ借ス、備警兵ニ同シ、

林警人ハ、權外ノ罪犯ヲ証告スルノ權ナシ、但、罪

犯アルヲ知ル時ハ、之ヲ它ノ檢察官ニ報呈シ、其

ノ報呈ハ、証告書ノ權ナシト云ヒ、亦追糺ノ為ニ

最要ノ按揭タリ、野警人
亦同シ、
現行犯ニ至テハ、
山林事件ニ、
重罪犯、及懲治罪犯

ノ禁獄以上ニ係ル者ハ、即チ捕ヘテ保安法官、若

クハ邑長副邑長ノ前ニ引致スベシ、其ノ罪禁獄

ニ至ラザル者ハ、証告書ヲ以テ証告ス、野警人
亦同シ、

林警人ハ、管林寮頭之ヲ任免ス、本部ノ部長官ハ、

假ニ林警人ノ職ヲ停ムルヲ得、部長官ノ許可

ナクシテ、妄リニ本位ヲ離ル、
ナクシテ、ヲ得ズ、

林警人ハ、野警人ト差別アリ、林警人ハ、編伍、法

リ、軍士ノ類ニシテ、野警人ハ、之ナシ、林警人ハ、名

位卑シト云ドモ、亦治部官吏ノ内ニ在リ、野警人

ハ、治部官吏ノ列ニアラズ、

林警人ハ、又司法檢察官吏ノ列ニ居リ、檢察事務
ニ付テハ、目代ノ管督ヲ受ク、其ノ職務罪アレバ、
它ノ檢察官ノ例ニ依ル、野警人亦同シ、〇但シニ
警人、共ニ目代補助ノ權
初メテ職ヲ奉スルニ當テ、其ノ地方下等裁判官
ノ前ニ於テ、誓ヲ宣ヘ、其ノ任狀、及宣誓文書ヲ裁
判所書記官ニ付シテ、記冊ニ登寫セシム、然ル後
ニ非レハ、職ヲ行フヲ得ズ、各警人ノ職ヲ行フ
ハ、其ノ誓ヲ宣ヘタル下等裁判所ノ部内ニ限ル、
其ノ部外ニ在テハ、平民ト異ナルヲ無ク、作ル所

ノ証告書、以テ証ヲ成スノ力ナシ、
歳二十五以上三十五以下ノ人ニ非レハ、警人タ
ルヲ得ズ、字ヲ讀ミ及書クヲ能ハザル者ハ、警
人タルヲ得ズ、司法治部ヲ論セズ、它ノ官職ヲ
兼ネ行フヲ得ズ、野警人亦同シ、〇但シ野警
人ノ撰ハ、往々精嚴ヲ欠ク、
薪材ノ商賣ヲ爲ス親シク爲スト、人ヲシテ、木
為サシムルトヲ論セズ、木
材ヲ用フル允テノ製造ヲ業トスルヲ、逆旅主人
タルヲ、酒肆ヲ業トスルヲ、職務ニ付テ人ノ贈遺
ヲ受ルヲ、山林地ヨリ生産シタル物料ハ何タル
ヲ論セズ之ヲ需用スルヲ、以上並ニ林警人ノ爲

ニ法ノ禁スル所タリ、
 各民山林ヲ私有スル者、私ニ警人ヲ置ク時ハ、郡
 令ニ其ノ人名ヲ進メ、許可ヲ待ツ、郡衙ニ於テ、其
 ノ記冊ニ任狀ヲ登寫シ、及其ノ山林ノ位置、所有
 主、及警人ノ姓名ヲ記入ス、又下等裁判所ニ於テ
 誓ヲ宣フル、官任ノ者ニ同シ、然ル後ニハ、私任
 ノ警人、亦司法檢察官ノ列ヲ得、其ノ罪犯ヲ追緝
 スルノ權、官任ノ者ト異ナル、ナシ、但、私任警人
 ノ証告書ハ、信憑ノ權、輕ク、又山林務官ニ証告ヲ
 送ラズシテ、之ヲ目代、若クハ、警察使ニ送ル、是レ

其ノ異ナリ、大抵、私林警人ハ、野
 警人ト例ヲ同フス、

野警人

野警人ハ、田野ノ土地產穀收穫ヲ看守シ、其ノ懲
 治犯及違警犯ヲ檢察証告スルノ任ニ居ル、重罪
 ハ、權
 内ニアラズ、治罪法ニ、野警人ヲ以テ檢察官ノ列ニ置
 ク、檢察官ノ列ニ於
 テ、或下ニ居ル、其ノ邑内ノ田野警則ニ觸ル
 ヲ者ヲ追糾シ、却外ニ及
 一ヲ得ズ証告書ヲ以テ、目代、若
 クハ警察使、懲治犯ハ、目代、違警犯
 ハ、警察使、若クハ邑長、ニ具告シ、
 產穀ヲ盜奪スル者ヲ押收シ、其ノ轉送窩藏セシ
 者ハ、其ノ所ニ至リ、追收ス、但シ保安法官、邑長、警
 察使ノ臨視ノクシテ、

人家圍場ニ侵入
スルヲ得ズ、

野警人ハ、又漢獵道路ノ犯禁ヲ檢証ス、

允ソ現行犯人、禁獄以上ニ係ル者アルヲ見ル氏

ハ之ヲ捕ヘテ、保安法官、若クハ邑長ノ前ニ勾引

ス、但シ証告スルノ權ナシ是レ治罪法ノ説ク所ナリ、其ノ它

罪犯アリ、及ヒ邑中ニ安寧ヲ害スルト見ユル事

アレバ、邑長及區警察使備警兵士官ニ報知シ、旅

人寄住スル者アレハ、邑長ニ報知ス、

區警察使ハ、野警人ノカヲ求ムルヲ得、野警人

ハ、求メニ從ヒ、区内各所ニ進行ス、

野警人ハ、備警兵ト相關係スルト多シ、就任ヨリ

八日内ニ、其人本邑属スル所ノ區ノ備警兵士官、

若クハ下士官ニ謁ヲ執リ、士官ハ、其ノ姓名年齢

住所ヲ問テ、之ヲ簿冊ニ登記ス、備警兵士官及下

士官ハ、其ノ廻回ニ當テ、野警人ノ勤怠ヲ視察シ、

之ヲ郡令ニ報知ス、又備警兵士官及下士官、野警

人ノカヲ求ムルヲ得、脱隊兇惡ノ類ノ人相書

ヲ、邑長ヲ經テ、警人ニ送り、警人之ヲ捕獲シタル

時ハ、賞ヲ得ルヲ、備警兵ニ同シ、

野警人ハ、邑長ノ薦舉ニ因テ、縣令之ヲ任ス、千八百五

十二 年令 其ノ身分ハ、邑長ノ下ニ屬ス、其ノ檢察官トシテハ、目代ノ監督ヲ受ケ、職務罪アル時ハ、它ノ
檢官ニ同久、優待ヲ致ス、但シ治部官吏トシテ、優待ヲ受ルナシ、
任ニ就クノ前ニ、其地ノ下等裁判所ニ於テ、誓ヲ
宜フ、其ノ誓辭云、

我公憑アル凡テノ田地、我任命文書ニ於テ我
ニ看守ヲ任セラレタル凡テノ田地ヲ保護ス
ルヲ誓フ、
凡ソ野警人タル者ハ、二十五歳以上ニシテ証告
書ヲ作ル爲ニ字ヲ讀ミ及書キ能フヲ要ス、若

字ヲ知ルノ人、撰ニ應スル者ナキ、
ハ字ヲ知ラザル人ヲ撰フヲ得、
邨邑要集ノ地ニシテ、其ノ猶警察使ヲ置クニ至
ラザル者ハ、邑民ヨリ縣令ニ請ヒ、野警人ニ邑警
吏ノ名ヲ與フルヲ得、邑警吏ハ、田野事件ニ限
ラズ、邑長ヲ助ケテ、総テ邑中ノ違警犯ヲ檢スル
ヲ得、
收獲ノ時ハ、臨時、邑民中ノ田産アル者ヲ以テ、收
獲警人トナシ、保安法官ノ前ニ宣誓シ、邑中ノ收
獲ヲ警看ス、其ノ權野警人ニ同シ、
アルフレト、グラシ、氏曰、法令ニ依レバ、毎

邑、必ず一人以上ノ野警人ヲ置クヲ要ス、然
ルニ、實際ハ警人無キノ地、多キニ居ル、蓋シ
寒村僻邑、以テ之ヲ給養スルニ足ラズ、時議
其ノ零散、束伍無キヲ以テ、軍法ニ依リ編制
スルノ説アリ、抑一年僅ニ二十五「フラン」乃
至六十「フラン」ヲ給スルノ警人、豈ニ能ク隊
伍ヲ成スニ勝、乎、林警人、年給五百「フラン」、
按スルニ、檢察官吏ハ、官ナリ、公力士ハ卒ナ
リ、林野警人ハ、公力士ヲ以テ、而シテ檢察官ニ
列スル者ナリ、允ソ公力士ハ、現行犯ヲ捕フ

ルノ權アリテ、常例非現行犯ヲ証告スルノ
權ナシ、林野警人ハ、其ノ職務ニ付テ、懲治罪
以下ヲ証告ス、是レ檢察官ニ列スル所以ナ
リ、
又、漁警人アリ、河渠ノ漁禁及獵禁ヲ警看ス、官任
ノ者アリ、私任ノ者アリ、並ニ林野警人ノ權ニ準
ズ、
田圃ノ爲ニ、私警人ヲ置キ、郡令ノ許ヲ經ル者ハ
其ノ權、亦野警人ニ同シ、或ハ數家合セテ一私警
人ヲ置ク、

鐵道警人、鐵道會社
ヨリ任ズ、及稅關、間稅務、郵信務ノ吏人
亦其ノ各員管掌ノ事ニ付テ、罪犯ヲ証告スル
林野警人ニ準ズ、

○第十一章

縣令

ボール、セル氏警
察處務ニ據ル

治罪法第十條ニ據ルニ、諸縣縣令、及巴里府警察
令ハ、自ラ檢察ノ諸事ヲ行ヒ、若クハ、檢察官ニ向
テ、其ノ事ヲ行フヲ求ムルヲ得、
縣令警察令ハ、非現行犯ニ於テ、訴ヲ受ケ、口書ヲ
作り、目代ヲ經テ、糾問法官ニ送ル、其ノ現行犯ニ
於テハ、檢視、搜索、拿捕、允ノ檢察官為ス所ノ事ヲ
為ス、但、便速ノ犯文書ヲ糾問法官ニ送ルヲ要ス、
縣令警察令ノ檢察ヲ行フハ、其ノ未タ檢察官ノ

手ヲ經ザル者ニ限ル、其ノ一タヒ檢察官ニ付シ
タル者ハ、縣令唯、知ル所ノ証款ヲ檢察官ニ送ル
コトヲ得ルニ止ル、自ラ檢察ヲ行フコトヲ要セズ、
ポ¹ール、セル氏曰、縣令自ラ檢察ヲ行フノ權
ヲ有スト云ビ、之ヲ檢察本官ト混スベカラ
ズ、立法家、縣令ニ自ラ檢スルノ權ヲ與ヘタ
ル者ハ、彼レ直截處分スルノ事ヲシテ、檢官
ノ處分ト同一ノ權分ヲ有セシメントスル
ニ過キザル而已、凡ソ通常ノ事ニ於テ、縣令
ハ、檢察官ニ讓ルヲ以テ當トス、然ルニ行政

權ニ於テ、間縣令自ラ檢スルヲ要スルノ事
アリ、陰謀結黨流言ノ類ノ如キ、其ノ擿發ノ
初歩ニ在テ、尤モ直捷ヲ要ス、則チ縣令、即時
臨監シテ、搜索押收追蹠拿捕シテ、然ル後ニ
檢察官ニ付ス、然ルニ縣令ノ此ノ權ヲ行フ
ハ、至テ已ムコトヲ得ザルノ時宜ニ限ル、不要
ノ事ニ居間シ、法司ノ常務ヲ妨害スルガ如
キハ、避クベキ所タリ、乃チ緊急重要ノ事ニ
至テモ、亦目代ニ通牒シテ、叶同處分スルコト
豈ニ便ナラザル者アラン乎、

警察令

ヲ以テ

此ニ、警察令地方警察ノ職務ヲ舉
ケズ、其ノ檢察事務ニ干カラザル

巴里府ニ、縣令アリ、警察令アリ、凡ソ它ノ各地方
ニ於テハ、警察ノ事ハ、皆、縣令職務ノ一課タルニ
過キズ、巴里府要劇多事ナルヲ以テ、別ニ警察令
ヲ置キ、專ラ一府ノ警察事務ヲ管轄ス、
警察令ノ務メ、第一、通行警察、第二、各地警察、第三、
司法警察、第四、國事警察トス、
ブランシ氏
舊制警察令ノ權、巴里府ニ止マル、千八百五十九
年、警察令ヲ以テ、内務ノ安寧事務課總長トス、是

一於テ、警察令ノ權、全國ニ行フヲ得、
子ウ、氏

ブランシ氏治部字類、警察令、
グイ、アン、氏
ノ説ヲ引ク、曰、警察令、内務執政ノ委任ヲ以
テ、巴里府中ノ國事犯ヲ警者ス、凡ソ不逞徒、
黨謀ヲ構フルハ、陰密ノ中ニ於テス、故ニ國
事警察モ、亦之ヲ陰密ノ中ニ追跡シ、陰謀ヲ
未成ニ制スルヲ以テ務メトス、或ハ兵卒ノ
亂ヲ唱フル者ヲ工場内ニ探リ、或ハ奸謀ヲ
酒戸ノ中ニ察シ、或ハ詭秘ノ黨衆ヲ查シ、或
ハ隱藏ノ文書兵器硝藥ヲ押收シ、凡ソ事ヲ

生シ内亂ヲ煽ク者ヲ捕執スル等、皆國事警察ノ事ナリ、其ノ報呈已ニ具ハリ、顯跡已ニ聚リ、事序相應シ、區處備悉シ其ノ事、果シテ輕重罪ヲ成シ、其ノ証憑、以テ罪ヲ告ルニ足ル、而シテ其ノ外ニ傳播スルモ亦害ナキニ至レハ、警察官、其ノ文案ヲ法司ニ傳へ、目代始メテ法司ヲシテ、自由ニ其ノ處分ヲ行ハシム、然ルニ國事犯、往々蹤跡詭秘、以テ法司追糺ノ憑案ヲ成スニ至ラズ、而シテ事情危險、遠カニ擲發スベカラザルキハ、則チ警察

官、其ノ固有慣用ノ方便ヲ行フ、無聲ノ間ニ瞭望シテ、未タ姦謀ヲ暴露スルヲ能ハスト云レ、亦一旦緩急ノ防虞ヲ致シ、一發シテ法司ノ手ニ付セント、居常注目企足シテ怠ラズ、其ノ平安ヲ扶クルノ功、法司、糺治ノ美觀、論斷ノ嚴刻ニ比フレバ、往々之ニ優レルト多シ

「カシミル、フルニエ氏曰、縣令、警察令、檢察官ニ向テ、檢察ヲ求ムルハ、當リ、自ラ檢察ヲ行フニ至ラハ、是レ再タヒ古ノ警察兩權混合

スル者ニ復スルナリ、諸縣ノ縣令ハ、實際此
ノ特權ヲ行フト少シ、但巴里ノ警察令、時ト
シテハ、國事犯、若クハ緊急事件、少ク緩待ヲ
容レザル者ニ於テ之ヲ行フ、例如ハ、電信
アリ、一盜賊巴里府ニ向テ發行シタルヲ
報ス、若シ之ヲ車ヲ下ルノステーションニ於
テ捕ヘザル時ハ、渠レ一タヒ府市ノ中ニ落
ツ、蹤跡頓ニ失フノ類、

